

取組項目 No.16 文化財保護に留意した復興事業の推進

〔取組概要〕

- 岩手県では、県民の文化活動が活発に推進されるよう、公益財団法人岩手県文化振興事業団の文化振興基金助成事業等により、文化団体等の活動の奨励や支援に取り組んでいます。
- 東日本大震災津波では、津波被害を受けた伝統芸能団体及び民俗芸能団体も数多くあり、その活動にも多大な影響があったことから、県では、被災した練習施設等の整備に対する補助を行っているほか、文化振興基金助成事業の中の東日本大震災復興支援事業により、破損又は紛失した郷土芸能用具を購入する費用や津波被害を受けた団体が自ら実施する公演費用を助成しています。
- 民俗芸能団体に日頃の活動成果を発表する場を提供し、各団体の活動を促進しながら全県的な保存伝承活動の拡大を目指すとともに、県民一般の民俗芸能に対する理解と認識を深めるため民俗芸能大会を開催しています。

取組事例 ① 津波被害を受けた伝統芸能団体等への助成について

岩手県では、郷土芸能復興支援事業により、被災した郷土芸能団体の練習施設や用具の保管庫等の整備に対して、市町村とともに補助しています。平成24年度は3団体、25年度は4団体に対して補助しました。

公益財団法人岩手県文化振興事業団では、津波被害を受けた12市町村に活動の本拠を有する伝統芸能団体等に郷土芸能用具の購入等の費用を助成しています。



城山虎舞（大槌町）
練習施設：平成24年度補助

文化振興基金助成事業【備品整備事業】		
年度	件数	助成内容
平成23年度	32	「赤澤鎧剣舞」備品整備事業ほか
平成24年度	24	「広田御祝い」備品整備事業ほか
平成25年度	20	「明土権現舞」備品整備事業ほか



門中組虎舞（大船渡市）：平成23年度助成
（岩手県指定無形民俗文化財）

取組事例 ② 日頃の活動成果を発表する場の提供について

平成24年度は「震災に負けるな伝統文化で再生を！」、平成25年度は「天地に祈る再生」と題して、日頃の活動成果の公開の場の提供と、県民一般の民俗芸能に対する理解と認識を深める一助としながら円滑な地域社会づくりに貢献することを目的に民俗芸能大会を開催しました。



平成24年度民俗芸能大会



平成25年度民俗芸能大会

取組項目 No.17 文化財保護を活かした地域社会の再興

〔取組概要〕

- 岩手県では、復興計画に基づく各種事業の進捗に伴い、遺跡の発掘調査量が増加してきており、文化庁の調整を受けて全国より支援職員を受け入れるとともに岩手県職員も増員し、復興の妨げとならないよう迅速な調査を実施しています。
- 復興事業現場での遺跡の現地説明会を開催し、住民に向けて歴史的な価値を発信しています。
- 岩手県立博物館を中心に文化庁の東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会と連携しながら、貴重な学術資料の救援活動を行い、海水損した資料の安定化処理の実施や修復作業を実施しています。

取組事例 ① 文化財保護（埋蔵文化財調査）と震災復興事業の両立について

岩手県教育委員会では、震災復興事業に係る埋蔵文化財調査を実施するとともに、沿岸市町教育委員会の調査支援を行っています。



発掘調査の様子

取組事例 ② 歴史的な価値の発信について

復興事業現場において、調査した遺跡の現地説明会を開催し、住民に向けて歴史的な価値を発信しています。



現地説明会（大槌町）

取組事例 ③ 被災文化財の修復作業について

砂泥まじりの海水に浸かった資料を、安定的に長期にわたり保管できる状態となるよう修復作業を実施しています。



修復作業の様子